

令和2年度

学校関係者評価報告書

令和3年7月

学校法人朝日学園（令和3年度）
学校法人筑波研究学園（令和2年度）
成田つくば航空専門学校

○令和2年度 学校関係者評価報告書について

成田つくば航空専門学校は、「工業分野」の専門課程の認可を受けた専修学校として、わが国の航空産業諸分野の中核を担う優れた人材を育成し社会の発展に寄与することを目的として運営されています。また、平成26年度に文部科学省から「職業実践専門課程」と認定された航空整備学科、およびグランドサポート学科では、航空分野の諸企業との密接な連携のもとに、「学校運営の適正化」および「教育内容の充実」が図られています。

本校では、平成25年4月に定めた「自己点検・評価規程」に従って、学校自己点検・評価委員会を設置し、「専修学校における学校評価ガイドライン」に沿って本校の運営および教育活動について自己点検・評価を実施し、真摯に学校評価に取り組み、現状の把握、課題及び今後の改善策を協議検討してまいりました。

以下、先般開催した学校関係者評価委員会の点検・評価について報告します。

1. 学校関係者評価委員会 実施日時・場所

令和3年6月24日(木) 14:00 ~ 16:00

成田つくば航空専門学校 E22会議室

2. 学校関係者評価実施方法

(1) 実施組織：学校関係者評価委員会

○評価委員

久野嘉一	公益社団法人 日本航空技術協会 総務部長
百田 寛	株式会社 JAL エンジニアリング 総務部 組織・人財グループ長
熊谷仁志	株式会社 IHI 航空・宇宙・防衛事業領域 瑞穂工場 武蔵総務部主査
佐々木孝明	多摩川スカイプレジジョン 株式会社 常務取締役
足立 知	株式会社 JAL グランドサービス 総務部 人財採用グループ長
水谷真也	株式会社インテックス ランプ事業部 業務部 教育安全課
倉持 登	取手市小堀地区 区長
吉田典子	成田つくば航空専門学校 保護者代表
平井 緑	成田つくば航空専門学校 保護者代表
今村吉宏	成田つくば航空専門学校 卒業生代表
古橋亮祐	成田つくば航空専門学校 卒業生代表

○学校関係

山本卓二	成田つくば航空専門学校 校長
春日由光	成田つくば航空専門学校 就職指導課長
久保嘉孝	成田つくば航空専門学校 航空整備学科長
鈴木義治	成田つくば航空専門学校 グランドサポート学科長
藤井伸一	成田つくば航空専門学校 教務課長

(2) 評価基準：文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」に準拠

(3) 評価方法：令和2年度 学校自己点検・評価報告書に対する学校関係者評価

3. 自己評価は、以下の10項目を実施しました。

- (1) 教育理念・目標
- (2) 学校運営
- (3) 教育活動
- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献

4. 評価項目に対する評価

- (1) 次の4段階(*)をもとに「学校自己点検・評価報告書」の各評価項目の平均点を小数点以下第1位までを評価。
(*) 4段階：適切-4、ほぼ適切-3、やや不適切-2、不適切-1
- (2) 委員会で出された意見や質疑、提案事項を記載。

5. その他

令和2年度 学校自己点検・評価報告書を併せご覧ください。

評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標 評価 4.0

- ・ 学校自己点検・評価報告書記載の通り承認された。

(2) 学校運営 評価 4.0

- ・ 学校自己点検・評価報告書記載の通り承認された。

(3) 教育活動 評価 3.9

- ・ 評価項目7「授業評価の実施・評価体制はあるか」に関し評価が3となっているが、評価の中に在校生だけでなく、卒業生OB等は含まれているのか？OBから意見を聞く中で「このような授業があったら良い」、「教育基準に取り入れれば、より充実した教育が出来る」等の意見を吸い上げる場があればと考えるが如何か？
～現状のアンケートについて、昨年度はコロナ禍にてアンケートの実施が遅れたが、整備学科は8科目の授業、グランドサポート学科は、6科目の授業について各学生に対しアンケートを実施した。授業改善アンケートと称し、各10項目の設問があり、はい・普通・いいえ、その他自由記述欄を設けている。質問の「OBからの意見の取り入れ」に関して現在は行っていない。卒業生OBは学校関係者評価委員のお二人の意見となり、現状からは難しいと考える。

- 参考意見として、今後検討いただきたい。
～卒業生との接点の中で、教育に対する意見を反映させる体制を考えていきたい。
- その他の項目は、学校自己点検・評価報告書記載の通り承認された。

(4) 学修成果

評価 3.8

- 評価項目 4 項、「卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか」に対し、【現状と課題】で、「社会的活躍については、必要に応じ可能な限り情報収集を心掛けている」【今後の改善方策】で、「卒業生の勤務先企業等（学科特有の業界）と交流する機会を設けている」と記載があるが、具体的な情報収集は？
～連携している企業との研修・見学会で企業訪問時に、案内役に卒業生をアサインしてもらった等の依頼をしたり、企業訪問時に担当者に卒業生の現状を伺ったりして情報を得ている。又、研修とは別に広報担当者が企業訪問時に情報を得るようにしている。
- 評価項目 1 項、「就職率の向上が図られているか」の説明の中で、「就職内定率は 100% だが、希望の職種ではない企業に行かれた学生がいる」と理解して良いか？航空整備士の勉強をして来て、その分野でない職種とは具体的にどのようなところに就職しているか？
～整備学科は基本的に整備士を目指して入って来るが、整備士コース（2等航空運航整備士コース）に行ったから、全員が整備士になれる訳ではない。整備士以外では、航空業界に関連した業界で、航空機部品の整備・製造・点検をする企業が多い。整備士ではないが、整備士コースで学んだことが活かせる職場に就職をしている。

*評価項目 1 項、「就職率」に関連して、内定業種について補足説明。

～就職内定率は 100%（就職希望対象者 47 名）、主な就職先(業種)は以下の通り。

学科	業種	人数
航空整備学科 (25 名)	機体整備	3 名
	部品整備・製造	5 名
	給油	4 名
	非破壊検査	3 名
	船舶(エンジン)	2 名
	その他	8 名

学科	業種	人数
グランドサポート学科 (22 名)	グランドハンドリング	18 名
	航空貨物	2 名
	給油	2 名

- その他の項目は、学校自己点検・評価報告書記載の通り承認された。

(5) 学生支援

評価 3.8

- 学校自己点検・評価報告書記載の通り承認された。

(6) 教育環境

評価 3.7

- 学校自己点検・評価報告書記載の通り承認された。

(7) 学生の受け入れ募集

評価 4. 0

- ・ 評価項目 1、「学生の募集活動は適切に行われているか？」に関して、評価が 4 の適切に行われているとなっている。ユーチューブの動画再生時には広告が入るが、ウェブ上での配信時に広告が入るような活動をしているのか？
～そのような活動はしていない。
- ・ 令和 2 年度の決算が赤字である状況で、募集人数まで届かなかったと考えるが如何か？
～その通りで 70 名の学生獲得を目指していたが届かなかった。
- ・ 興味がある学生に届く広報が来ているのであれば、興味のない学生に目につくような広報の仕方を工夫する必要があるのでは。ユーチューブの動画配信時の前に広告が入るように、お金を払う有料の広告活動をすれば、もっと興味のない学生にも届く宣伝ができると考える。先程、貴校の公式ツイッターを確認したが、あまり多くの人には見られていない状況にある。こちらも、連携企業との間でリツイートをしたりして、興味のない学生にも届くやり方を模索しては如何か。航空業界に興味のある人の目につく方法は出来ていて、それで学生数が届いていないのであれば、興味のない人に目がつくように大胆に広告を打って行ったらと考える。
～企業との連携は広報担当が検討をしている。学生募集については正面から取り組むが、広報担当者も動画編集等大分慣れて来ており、ウェブといったツールを今後も活用して行く。
- ・ ツイッターに関して、人気のあるものは小まめに更新をしている。更新されていないアカウントはあまり見られない。可能であれば毎日、厳しいのであれば毎週、更新頻度を上げれば、ツイッター広告として機能すると考える。
～参考意見として、広報担当者に伝える。
- ・ その他の項目は、学校自己点検・評価報告書記載の通り承認された。

(8) 財務

評価 3. 5

- ・ 評価項目 1 項、「中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか」について、コロナ禍に於いて非常に苦労されていると思慮する。喫緊の課題と考えるが、今後ワクチン接種が進み、アフターコロナで経済が回復すると、航空業界も若干遅れて回復して来る。そうすると航空を目指す学生さんも戻って来るが、時間的に徐々であり、スタグム気味であると考え、依然として学生さんは厳しい状況（募集人員）になる。今のうちに出来ることをする必要があり、例えば、航空機整備・グランドハンドリングの業務を正しく理解し、魅力ある職場であることを広く判っていただく活動が必要と考える。JAL グループ・ANA グループで工場見学、グランドハンドリング見学をやることによって、少しでも裾野を広げて行くことが大切と考える。技術協会でも同様のことを考えており、一緒に連携して取り組んで行きたい。
～昨年度はコロナ禍で企業とタイアップした見学会等は開催できなかった。昨年度はコロナ対応が分からず苦慮したが、ポイントを絞った対策をすればそんなに恐れることはないと考える。今後企業側も対応策を取り、受け入れ体制が整っていくと考えるので、協力をお願いして行く。

- ・ その他の項目は、学校自己点検・評価報告書記載の通り承認された。

(9) 法令等の遵守 **評価 3.8**

- ・ 学校自己点検・評価報告書記載の通り承認された。

(10) 社会貢献・地域貢献 **評価 3.0**

- ・ 評価項目 1 項、「学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか」に対し、ドクターヘリの実績記載があるが、昨年の事例では自身も現場において緊急搬送されるのを確認した。もしもの時には人命が一番なので大変ありがたい。AED 装置が設置してあることも、地元でなにかあった時には助かる。水害時に利根川が氾濫した場合、高台に避難することになっているが、そこは堤防から 1 Km 先の場所にある。我々住民（120 軒程）は堤防と高台の間に居住しており、堤防が切れた場合は、早く避難するか高いところに避難することになるが、高いところに避難するとなると、この校舎の屋上を借りることになる。以前地域の住民と避難訓練で実際に上ったことがあり、堤防より高いことを確認した。以上 3 点につき、いずれも使わなければそれに越したことは無いが、校舎があることで、もしもの時は心強い。
- ・ 評価項目 2 項、「学生のボランティア活動を奨励、支援しているか」に対し、今後の改善方策では、「活動支援ができるよう体制構築を考える」とあるが、具体的な策は～昨年度の会議で「ボランティア活動そのものをカリキュラムに加えては如何か」という意見が出され、少し難しい点（課題）があるという事になった。ボランティア活動が教育活動としてカリキュラムに取り入れられるか？と言う事の検討と、学校全体として、個々の活動とは別の学科毎に検討をする必要があると考える。
- ・ 弊社にてアイデア支援プロジェクト活動を展開している。その中で、ボランティアに関する発案が多く出されているが、今後学校と企業との連携の中で、ボランティア活動に関しても何か協力が出来ればと考えている。
- ・ その他の項目は、学校自己点検・評価報告書記載の通り承認された。

以上